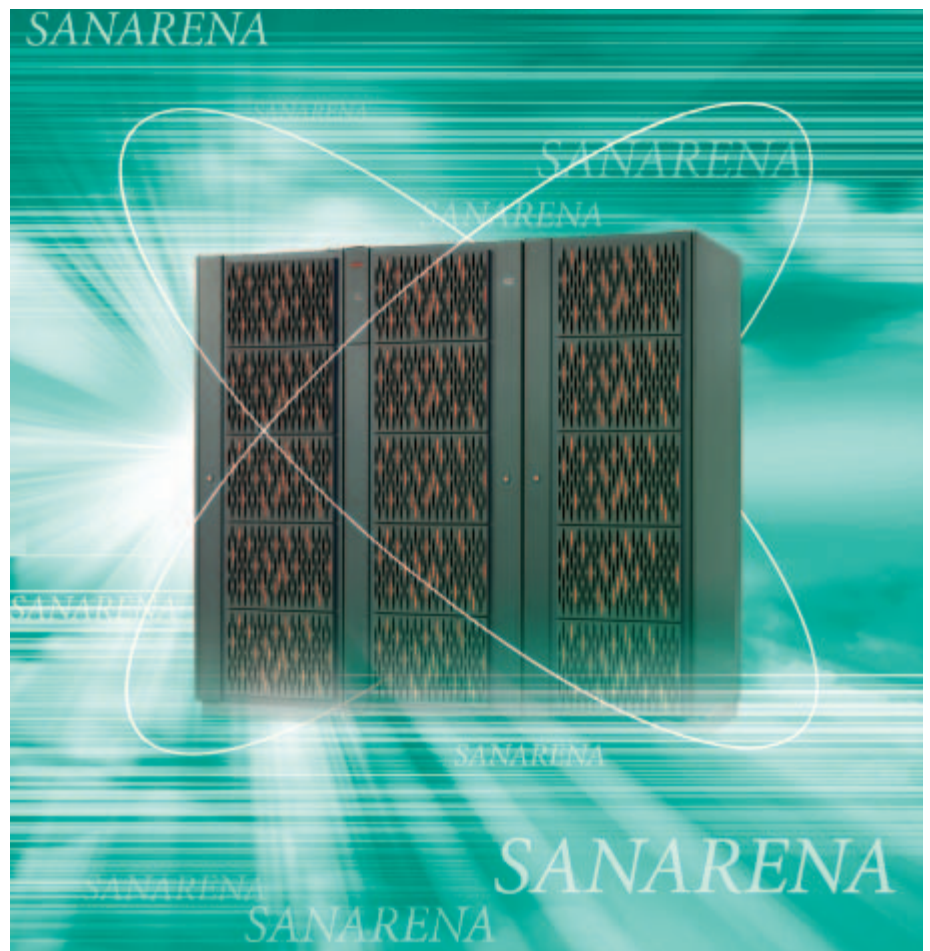


日本ユニシスグループの ストレージソリューションサービス

ストレージ全般にトータルなソリューションを提供

UNISYS



SANARENA®ストレージに留まらず、NASやバックアップソフトウェアを含むストレージ全般において柔軟なソリューションを実現できる一方で、その設計と構築には、より専門的な知識を必要とします。

日本ユニシスは、

- (1)SRM(ストレージリソース管理)向けサービス
- (2)BC(ビジネス継続)向けサービス
- (3)ILM(Information Lifecycle Management)向けサービス
- (4)データ移行(オープン系)サービス

の各種サービス領域において、より最適なストレージシステムをご提供いたします。ストレージソリューションサービスは、ストレージの専門技術者により事前検証されたトータルなサービスであり、高品質で可用性の高いストレージシステムの構築を支援します。

SAN/NASのネットワークストレージの効率的、効果的な運用のための企画、構築から運用まで一貫したサービスを提供

SRM(ストレージリソース管理)ソリューション・サービス

SANストレージ構成設計

最適なストレージ環境を構築するために、お客様システムのサーバ・ストレージ接続構成およびボリューム情報(サイズ、使用目的、ボリューム名、マウントポイント)などの情報を基に、SANARENAシリーズのストレージ設定構成設計およびFC SWITCHのゾーニング設計を行うサービスです。

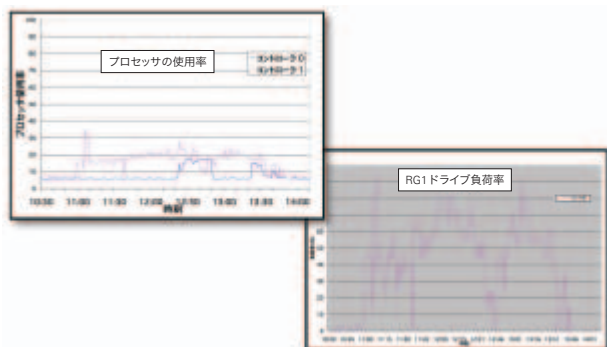
NAS 構成設計サービス

SANARENAシリーズは基幹系業務用ストレージとしてサーバとファイバ・チャネル経由で接続する統合SANストレージとして多く利用されています。また一方ストレージ市場では、日々の企業活動で作成・参照される電子情報の管理を目的としたファイルサーバやNASの市場が確立されており、両者を導入・運用している事例が多々存在します。SANARENAシリーズNAS機能は、両者の目的で個別に導入していたストレージをSANARENAに統合し、運用統合とコストの低減、ストレージ・リソースの有効利用およびレプリケーション機能活用によるデータ保護の強化を実現します。

稼働状況診断サービス

稼働状況診断サービスは、SANARENA ディスク装置上で実行する稼働診断測定プログラムを用いて実現します。稼働診断測定プログラムはSANARENA 装置内部の性能情報を採取し、次の場合におけるSANARENA ディスク装置に対する性能診断サービスを提供します。

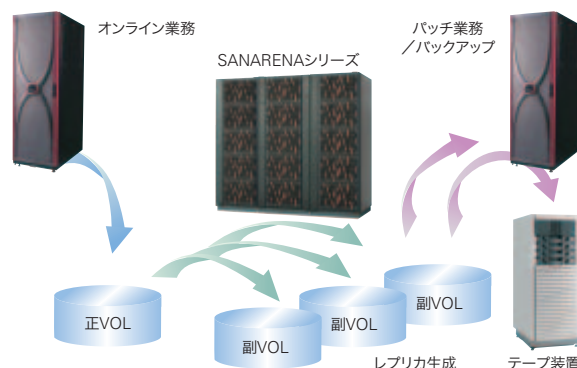
- 業務やデータ量の増加、サーバ増強に伴い、課題となっているディスクサブシステムの性能の現状把握とディスクサブシステム増強後の性能確認
- 普段の運用で、ディスクからのレスポンスが遅いなどの性能問題



BC(ビジネス継続向け)ストレージソリューション・サービス

LANフリーバックアップ設計・構築サービス

SANARENAが提供するデータレプリケーション機能(ShadowImage®もしくはSnapShot)を用いて実現するLANフリーバックアップは、24時間業務運用やデータ量の増加に伴い課題となっているバックアップを、業務への影響を最小限に生成する機能を提供します。これら機能によりレプリカ(副ボリューム)は、ストレージ内で処理される再同期処理(差分データの反映)によって高速に生成されます。生成されたレプリカは業務系サーバとは別のサーバ(バックアップサーバ)でアクセスすることにより、テープあるいはディスクへの2次バックアップ処理を業務と並行して実施することが可能です。またデータ障害時にはレプリカからの高速回復が可能となります。

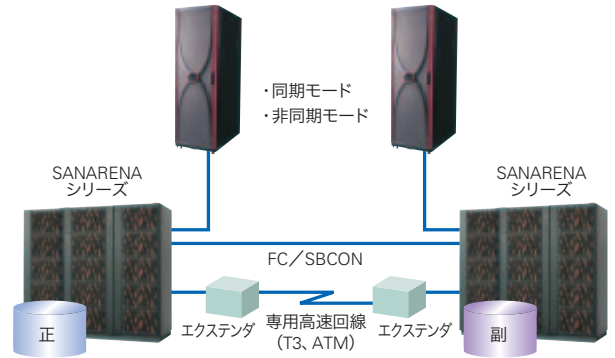


SANARENA



リモート・データ・レプリケーション設計・構築サービス

SANARENAシリーズ TrueCopy® (遠隔地へのコピー)機能を利用したストレージのリモートバックアップシステム構築のために、お客様要件のレビューおよび技術アドバイスをを行います。またレビュー結果にもとづき、リモートバックアップシステムの設計・導入・設定を行います。本サービスでは原則として、専任の技術者がサービスの開始から終了までを担当し、お客様システム構築に関するお問い合わせにも対応致します。なお本サービスには被災対応に必要な2センチ間のネットワーク切替、サーバシステム切替、広域SANに関する設計・構築は含んでおりません。これらに関しては個別にご相談ください。

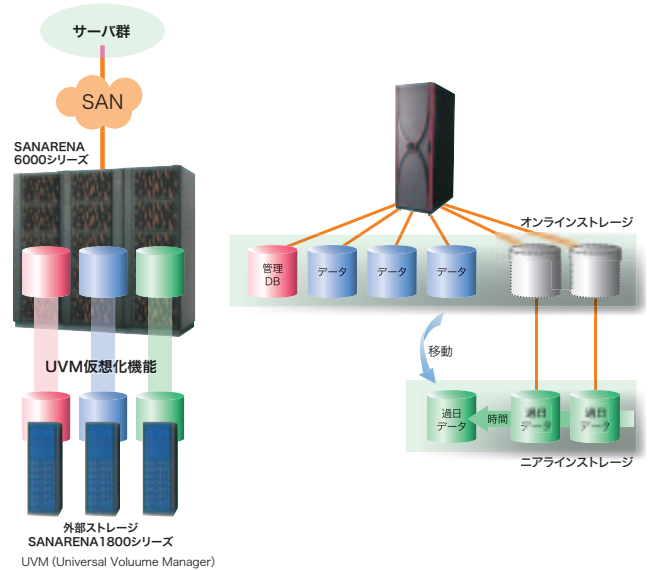


ILMストレージソリューション・サービス

Microsoft® SQLServer™ /

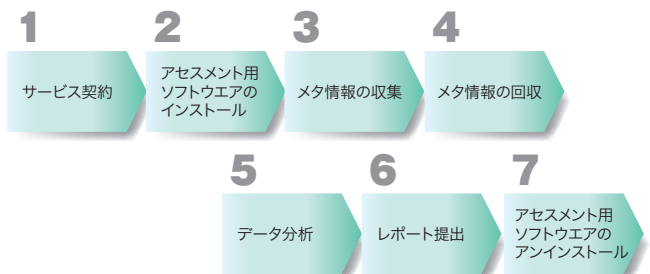
Oracle®データ再配置設計・構築サービス

データベース内のデータはオンライン処理のマスターデータ、日次処理、月次処理、四半期処理、年度末処理といったバッチ処理、あるいは目的別データベース、時系列分析の入力データとして利用されます。生成されたデータは月日が経過すると一般的にはアクセス頻度が低下していきます。そこでデータベース設計に於いて、どの時点のデータまでをデータベース上に保管すべきかが、ストレージ投資コストのバランスで課題となります。しかしデータ保存に関する社会的規制の強化や、データベース内への長期保管による情報の有効利用を考慮し、参照頻度の低下した過日データでも同一データベース上に保持する要件が強まっています。SANARENAのストレージ仮想化・階層化技術とDBMSの機能を組み合わせ、ストレージ投資コストを抑制しながら、同要件を満たすソリューションがデータベースの最適配置です。本ソリューションは、同一データベース内に過日データを維持しながら、同データを安価なストレージに再配置するものです。過日データのアクセス形態を変更せず、しかもストレージ投資コストを抑制するILMソリューションとなります。



ファイル利用状況アセスメントサービス

ファイル利用状況調査アセスメントサービスは、企業ファイルサーバに保存されている非構造オフィスデータの状況を解析し、データの増加状況、アクセス状況、削除対象候補の容量など現状分析レポートを提供するサービスです。本サービスの分析レポートは、重複ファイルや所有者不明ファイルなど不要なファイルの整理、サーバ管理によるユーザへの抑止効果、利用頻度の低いデータの安価な二次ストレージへの退避など、ストレージリソースを有効活用するためのデータ管理を支援します。また、サーバ・ストレージ統合、ILM(情報ライフサイクル管理)、階層型ストレージシステム構築へ向けた現状把握として利用できます。

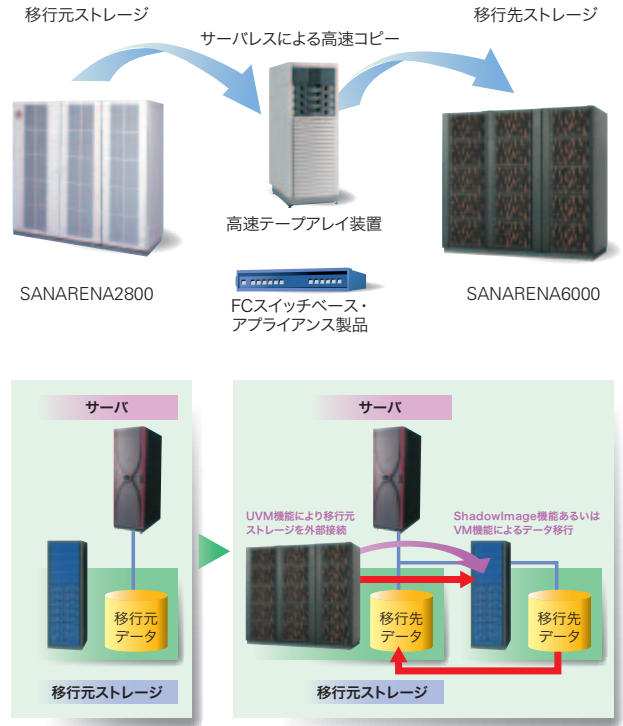


オープンシステム向けデータ移行サービス

オープンシステム向けデータ移行サービス

24時間サービスやデータ容量増加が、サーバ統合、ストレージ統合あるいはシステム更改などで発生するデータ移行作業を困難なものとしています。サーバあるいはネットワーク経由の移行と比較して、ストレージソリューションによるデータ移行は高速な移行を可能とし、業務停止期間を最小限とします。本サービスでは

- 高速テーブレイ装置によるデータ移行
 - FCスイッチベースによるデータ移行
 - SANARENA6000シリーズ UVM(Universal Volume Manager)機能とVM(Volume Migration)機能によるデータ移行
- の3方式によるデータ移行サービスを提供いたします。



サービス体系

ストレージソリューションサービス

SRM (ストレージリソース管理) ソリューションサービス

- SANストレージ構成設計サービス
- NAS構成設計サービス
- 稼働状況診断サービス
- 構成管理設計・構築サービス (注)

BC (ビジネス継続向け) ストレージソリューションサービス

- LANフリーバックアップ設計・構築サービス
- リモート・データ・レプリケーション設計・構築サービス

ILMストレージソリューションサービス

- SQLServer/Oracle データ再配置設計・構築サービス
- データボリューム再配置設計・構築サービス
- ファイル利用状況アセスメントサービス
- メールアーカイブ設計・構築サービス (注)
- ファイルアーカイブ設計・構築サービス (注)

(注) 個別にご相談ください。

オープンシステム向けデータ移行サービス

- ※SANARENAは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。
- ※Microsoft、Windows、SQLServerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ※Oracleは、Oracle Corporationの登録商標です。
- ※TrueCopyおよびShadowImageは、株式会社日立製作所の登録商標です。
- ※記載の会社名、製品名およびシステム名は各社の登録商標または商標です。

日本ユニシス株式会社

●お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲 1-1-1 〒135-8560
電話 03-5546-4111 (大代表)
<http://www.unisys.co.jp/>